

第 37 回（2024 年度）キッチンスペシャリスト資格試験 実技試験問題の解説

（公社）インテリア産業協会

1. 問題の要旨

テーマは「家事をシェアする子育て夫婦の LDK」で、施主は夫婦ともに仕事を持ち保育園児の 2 人の子どもを育てている。与えられた空間は低層集合住宅の LDK で、そのリフォーム計画が課題となる。キッチンへの要望は、主として調理作業の効率を考えたキッチンレイアウトと、調理中にも子どもの見守りが可能なことである。施主の要望、計画条件および問題に記された具体的な要求事項に対応させた計画を提案する。

2. 「問題 1」計画主旨

- 1) 作業効率をどのように捉え工夫したのか、例えば作業動線、通路幅、家調理家電置き場の配置などについて配慮したことを具体的に分かりやすく述べる。
- 2) 幼い子どもをどのように見守るのか、キッチンのタイプと調理作業とを絡めて具体的に述べる。

3. 「問題 2」平面図

平面計画は、まず玄関ホールからキッチンへのアプローチ、子ども室への出入り、テラス戸の位置を考慮して、K、D、L のゾーニングを考え、与条件を踏まえてキッチンの形式と配置を決める。

K は、夫婦 2 人で作業が行える広さを確保し、調理作業のスムーズな流れをチェックして部材や設備機器を配置し、施主の要望を満たすように計画する。冷凍冷蔵庫はキッチンおよびダイニングからアクセスしやすい配置が望ましく、冷凍冷蔵庫の扉の開閉が妨げられないように配慮する。D、L は、家具および子どもの遊ぶスペースを与条件に沿うようレイアウトする。

製図は、作成上の留意点に則り、計画条件および問題で述べられている事項は漏れなく記入する。玄関ホールとの境の二重破線部分には壁や建具を設置する。

4. 「問題 3」ワークトップの高さを導く根拠となる計算式とその答え

計画条件に対応し夫の身長に合わせワークトップの高さを計算する。

5. 「問題 4」展開図

平面図に対応させて、シンク、コンロ、レンジフード、冷凍冷蔵庫、収納など機器・部材の全ての面を描き、天井高、機器・部材、レンジフードとコンロの離隔距離などの寸法、および品番を漏れなく記入する。ワークトップの高さは問題 3 で求めた数値とする。作成上の留意点に則り、床、壁、天井の線、通り芯およびその符号を表示する。

6. 「問題 5」K の透視図

提案したキッチンの特徴を表現する方向から見た図を、平面図、展開図と対応させて描く。冷凍冷蔵庫、シンク、コンロ、レンジフードが表現できるアングルが望ましい。また、レンジフードの取り付け位置が不自然になりやすいので注意する。床、幅木、壁、天井の線、建具や枠を省略せずに描く。

7. 所感

施主に提案するプレゼンテーションの図として、計画した提案を分かりやすく伝えられるように描く。製図は、壁など断面線は太線、家具などは中太線、寸法線などは細線で 3 種類位を使い分けて描くとよい。文字、数字は読みやすいように正しく丁寧に書く。なお解答欄に白紙部分が生じないように時間配分に注意する。